

□

■しずだい産学連携メールマガジンVol.103

2016年7月19日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。 <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、創造科学技術大学院の三重野 哲 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」に出展します
2. 「イノベーション・ジャパン2016」に出展します
3. 「グリーンサイエンスカフェ」のご案内
4. 「静岡大学・読売新聞連続市民講座2016」のご案内

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。

メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 「第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」に出展します

静岡大学との産学連携をご検討の皆さま、ぜひこの機会に静大ブースにお立ち寄りください。コーディネーターがサポートいたします。

静大発ベンチャー企業の紹介もします。

【日時】 2016年7月20日（水） 10：00～17：00

7月21日（木） 10：00～16：00

【会場】 アクトシティ浜松 音楽工房ホール

（浜松市中区中央3-12-1）

【静岡大学の出展内容】

静岡大学の産学連携活動と大学発ベンチャー企業の紹介

【詳細】 <http://www.hamamatsu-bmf.jp/>

【静岡大学の問合せ先】

イノベーション社会連携推進機構

TEL：053-478-1713

E-mail：sangakucd[at]cjr.shizuoka.ac.jp

2. 「イノベーション・ジャパン2016」に出展します

大学や公的機関等から創出された研究成果の社会還元、技術移転を促進すること及び、実用化に向けた産学連携のマッチング支援を実施することを目的としてJSTが主催する、「イノベーション・ジャパン2016」に本学から4名の研究者が出展いたします。

ブース番号等会場レイアウトについては決まり次第、当機構のHPでご案内いたしますので、改めて当機構のHPにてご確認をお願いいたします。

皆様のブースへのご来場をお待ちしております。

【日時】 2016年8月25日（木） 9：30～17：30

2016年8月26日（金） 10：00～17：00

【会場】 東京ビッグサイト（東京国際展示場）

西展示棟 西2ホール

【静岡大学の出展内容】

■ 「食物や人体が対象のハンディ型非接触非破壊硬さ測定器」

出展者：学術院工学領域 電気電子工学系列 教授 犬塚 博

■ 「レーダを使った非接触心拍・呼吸モニタ」

出展者：学術院工学領域 電気電子工学系列 教授 桑原 義彦

■ 「液晶表示装置を用いて情報伝達を行う可視光通信システム」

出展者：学術院工学領域 電気電子工学系列 准教授 和田 忠浩

■ 「情報モラル・情報セキュリティの効果的な指導方法に関する研究」

出展者：教育学部 発達教育学専攻 准教授 塩田 真吾

（当日は、酒井 郷平 学術研究員が対応）

【入場料】 無料

【静岡大学の問合先】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL 053-478-1718

E-mail [invjp11\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:invjp11@cjr.shizuoka.ac.jp)

3. 「グリーンサイエンスカフェ」のご案内

平成25年4月に発足した「グリーン科学技術研究所」の教員が、
研究者の夢や失敗談、ときには笑いを交えて個々の研究を紹介します。

コーヒーを片手に、科学の話題に耳を傾けてみませんか？

次回は、8月19日（金）開催です。

【開催日】 2016年8月19日（金）

（1）17:00～（2）19:00～（同様の講話を2回行います）

【講師】 原 正和 教授（グリーンバイオ研究部門）

「植物のストレス事情」

（概要）

植物も人間同様、日々ストレスに悩まされています。

植物にとってのストレスとは？ストレス解消の処方箋は？

植物のストレスに関する基礎から応用技術まで、私たちが取り組む、

農業の温暖化対策に関する話題を中心に紹介します。

【会場】 B-nest 静岡市産学交流センター

ペガサート6階 プレゼンテーションルーム

【受講料】 無料

【定員】 100人（先着順）※事前申込不要

【問合せ】 メールにてお問合せください。kondo.mitsuru[at]shizuoka.ac.jp

【詳細】 <http://www.green.shizuoka.ac.jp/topic00027.html>

※終了回

【第1回】 2016年4月15日（金）

「カイコは天から下った恵虫？～カイコはタンパク質を自由自在に作る最先端バイオテクノロジー工場～」

（講師） 朴 龍洙 教授

【第2回】2016年5月20日（金）

「私たちの生活に役立っている！～クラスター分子の構造と機能～」

（講師）加藤知香 准教授

【第3回】2016年6月17日（金）

「キノコが農業を変える？～フェアリーリング（妖精の輪）を作るキノコから得られた物質で作物増産～」

（講師）河岸洋和 教授

【第4回】2016年7月15日（金）

「静岡県から発信する環境調和型ものづくり～生分解性ポリ乳酸やマイクロナノバブルについて～」

（講師）間瀬暢之 教授

4. 「静岡大学・読売新聞連続市民講座2016」のご案内

静岡大学創立60周年を機に始まった「静岡大学・読売新聞連続市民講座」も2016年度で8年目となり、毎年多くの皆様にご参加いただいています。

「地球市民・未来創生塾～現代日本に生き、考えるための5つの視点～」＜全5回＞

地球規模で考え、地域に根ざして行動する——現代社会に生きる我々が、未来志向でよりよく生きようとする際、グローバルな視点が重要になります。

2016年度の静岡大学・読売新聞連続市民講座は、グローバルな視点をさらに展開し、宇宙から地球、世界から日本、静岡にいたる多様な5つの講座を提供します。

【開催日】 時間はいずれも14:00～16:00

・ 第2回：8月20日（土）

「地球環境の歴史を読み解く～地球と人類のこれから～」

（講師） 山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授）

・ 第3回：9月3日（土）

「近代世界の地域紛争～その背景と処方箋～」

（講師） 大野 旭＝楊 海英（静岡大学人文社会科学部教授）

・ 第4回：10月1日（土）

「日本における異文化交流の一側面～静岡とフランス～」

（講師） 今野喜和人（静岡大学人文社会科学部教授・学部長）

・ 第5回：11月5日（土）

「静岡という地域～その課題と可能性～」

（講師） 太田隆之（静岡大学地域創造学環准教授）

【定員】 各回250人

【参加費】 無料

【会場】 あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6F大ホール

【申込方法】 氏名（ふりがな）、住所、年齢、電話番号、参加される回を明記して

FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。

【申込先】 FAX：054-252-0310 メール：shizuoka[at]yomiuri.com

葉書 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F 読売新聞静岡支局 静大市民講座係 宛

【問合せ】

(内容に関すること) 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門

TEL:054-238-4817 メール: LLC[at]ipc.shizuoka.ac.jp

(受付に関すること) 読売新聞静岡支局 静大市民講座係

TEL: 054-252-0171 メール: shizuoka[at]yomiuri.com

【主催】 静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

【詳細】 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event002492.html>

《 みんなのコラム -97- 》

記：創造科学技術大学院、理学部物理学科 教授 三重野 哲

私は、約35年前に東北大学工学部電子工学科・大学院（佐藤研究室）に入学し、8年間、プラズマ基礎実験の研究をすることができました。

佐藤先生は、元静岡大学学長であられました 渡邊 寧 先生の弟子にあたる先生です。

この時期、東北大学通信研究所では、半導体や光工学にて華々しい産学連携研究が行われている様でした。それに比べ、自分は、かなり基礎的な事をやっておりました。しかしながら、静岡大学理学部に赴任してから30年間、「プラズマ科学」分野にて、基礎・応用の研究の機会を頂きました。

この頃、応用物理学会・プラズマエレクトロニクス分科会活動の縁で、NEC基礎研究所と「パルス変調プラズマによるLSI 微細エッチング技術」の共同研究を行いました。そして、国際的に高い評価をもらうことができました。

また、名古屋大学・プラズマ科学センターとの共同研究で、「ヘリコン波高密度プラズマの研究」に成功しました。

その後、1990年頃、理学部化学科の相原教授の勧めと世界的なフラーレン (C60) ブームに乗って、フラーレン等の炭素クラスターの大量合成の研究を行うことができました。

その中で、千葉県の大亜真空社と共同で、「リボルバー式フラーレン合成装置」を製品化することができました。近年、このレビューが国際的評価を得ています。

一方、ナノチューブや金属内包フラーレンの合成に関し、蒲原の日本電極社とクラスター用原料、「サブリカーボン」を開発することができました。

私は、以前より「社会に役立つ応用物理の研究」を行いたいと願っていましたので、今後もその方向でブレークスルーを狙いたいと思います。

機会があれば、新たな産・学・官連携活動に参画して行きたいと思います。

科学技術立国日本を維持していくために、若者と共に頑張りたいと思います。

全国の皆様、今後とも、よろしく申し上げます。

<< 編集後記 >>

静岡大学イノベーション社会連携機構は、経済産業省平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」（ネットワーク型）に申請し採択を受け、本事業を実施することになりました。

本事業は地域経済の活性化のため、地域中核企業候補が新分野・新事業に挑戦する取り組みやその成長のための支援を行うものです。

本学事業のテーマ名は『持続的ネットワークによる光・電子技術の新産業創出・地域中核企業創出支援事業』です。

事業の概要は、浜松地域の先端的な光・電子技術活かした新産業創出を実現するために、

国内外の支援人材を活用し、支援対象の中核企業候補が浜松地域を牽引する中核企業となるための支援を行います。合わせて、国内外のネットワークを構築し、持続可能な「光・電子技術イノベーションエコシステム」の構築を目指します。

今後、イノベーション社会連携機構と電子工学研究所（光創起イノベーション研究拠点）が事業を進めていきます。

-

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

— | — | — |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1413

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

-

Copyright(c)2008-2016

Organization for Innovation and Social Collaboration,

Shizuoka University.All rights reserved